

Workshop Report

(仮) 八幡市民複合施設 ワークショップ

WS 開始前に、任意参加での敷地見学会を開催
設計者と一緒に、周辺の環境や
敷地の特徴を確認しました。

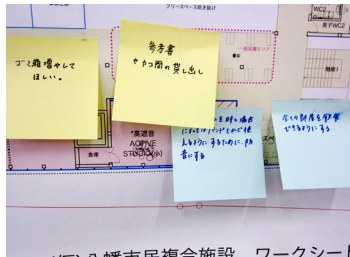


敷地周辺を歩きながら、
隣地との距離の近さや、
神社の境内ならではの雰囲気を実感

今回は特徴を持たせた
5つのグループに分かれ、
意見交換をスタート



年代や立場による意見の違いなど、
意見交換の結果を各班ごとにまとめ、
発表しました



田中市長も参加。皆の発表に
熱心に耳を傾けていました

今回のテーマである
敷地周辺の様子について、
航空写真等を用いて解説



初参加の高校生が多数に！
模型を見ながら、どんな施設になり
そうかを想像します



最後は参加者皆で記念撮影
回を重ねる毎に参加者も増え、内容も充実していきま

第3回 (仮) 八幡市民複合施設 ワークショップ

開催日時 2022年6月12日(日)10時~12時

開催場所 市川市役所第1庁舎 1階 大型モニター前

全体テーマ 八幡市民複合施設を考える

第3回テーマ 複合施設周辺全体の環境を良くするには？
複合施設の利用方法を考えよう

参加者 44名

Agroup

小さなお子さんの子育てに携わる方、高校生、近隣にお住まいの方が集まったAグループでは、周辺環境についてや『つどいの広場』エリアについて、より活発に有効活用するための方法などを話し合いました。

- 公園にシンボルツリーがほしい 日影になる
- 狭いのでボールは禁止。
- 公園のベンチは可動式にする? つどいの広場 open の時に出す。close でしよう。
- 夜は公園に入れないようにしても良い。
- 保育・幼稚園のお散歩でトイレに来て帰るので、多目的(トイレ)が行列に

周辺環境を良くするためには?

- 駐車場はいらぬ(公園の)
- 広場については何らかの方法(立て看、HP等)でアナウンスする
- 公園の利用時間を制限したらどうか(例. 7時~19時(時間外はカギかけるなど))
- 夜 公園使わないようにしてほしい ホームページに注意書きや、周りに紙を貼る
- ベンチの背もたれをなくす 子どもの使う時だけベンチを設置する
- ゴミ拾いイベント 高校生と子どもたちで競争するなど時に出す。close でしよう。

- 公園の夜の管理(ベンチは不要もしくは移動式) close でしよう
- 安全面から公園に接する駐車場は不要
- 参道側に大きな樹木 → どんぐりなどを植えても良いのでは 日影にもなる
- 空き缶が多い → 高校生でもできる ごみひろいのボランティアも計画する

ハンモック、寝ころべる ゆったりと勉強できる

親子で使う年齢制限がある(3歳まで)4歳や小学生も使ってもいいんじゃないか。

- 中高生・大学生がスタッフになり、小さい子どもを相手に平日16時以降、宿題手伝い。一緒に遊ぶ。ボードゲームなど。
- 16:00~ 高校生 学校終わり、16:00~17:30の間 ボードゲーム、勉強、遊ぶ。子どもの相手~20:00は、仕事が遅い親子と一緒に遊ぶ時間に
- 高校生・大学の文化サークルの発表の場として欲しい 公民館サークルとの交流ができればいい
- 学校終わりのダンス練習、軽い運動、なわとび、卓球、バドミントンなどができれば。飲み物、軽いお菓子などが置いてあると良い

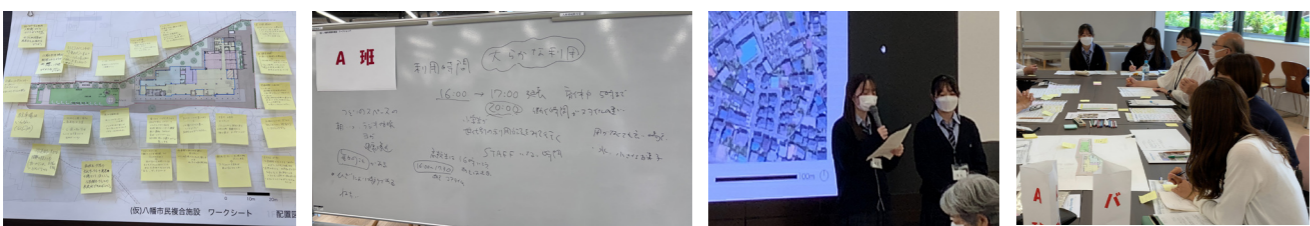
つどいの広場エリアをどう使ったら良い?

- 朝→ラジオ体操、ヨガ(シニアのため)→用がなくても日程にできる。子どもだけじゃなくて、シニア、中人も利用できるようにする。
- 寝る、ダンススペース。

寝転んでスマホや本などを読んだり見る。Yogibo やリラックスできる場所。

行きたくなるのは、こんな場所!?

- フリースペースで人形劇などのイベントができればいい。サークル利用者が発表する仕組みはどうか。
- 献血センターのように水、食べ物あればずっと居れる → ワークショップもあれば用がなくてもいい。
- 図書館みたいに、机とイス 静かだと 堅苦しい



Cgroup

市内在住の方や大学生などが集まったCグループでは、誰もが気軽に訪れることができるフリースペースのあり方などを中心に、過去2回で得られた多様な立場からの意見や要望を踏まえ、施設の目指すべき方向性についてなどを話し合いました。

- お茶室
- 仮眠ができる場所
- 神社へ参拝した人達が休める場所
- 高年齢の方が、自分の就いていた職業での経験について話していただけるイベントがあれば良い(進路選択に非常に役立つ)

フリースペースに あったら良いな!

- 若い人の意見を生かす
- フリーマーケットのイベントがあったら良い(本、絵本、ぬいぐるみなど)
- 高年齢者が不安なく立ち寄れる
- つどいの広場にいる子どもと触れ合える安全なシステム
- どんな施設に、なったら良い!?



Bgroup

これまで旧公民館を積極的に利用されてきた方が多数集まったBグループ。高校生や近隣にお住まいの方も交え、主にコミュニティセンターエリアの使い方について、意見交換が行われました。

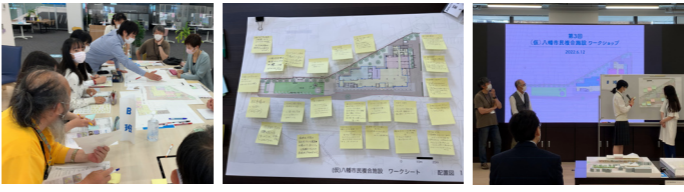
- 外部は夜間の防犯対策が大切
- 建物外に活動の掲示板を設置して欲しい
- 施設の周りの人が知ることができる 広報の場
- SNSでの発信を
- 今からうじて残された樹木を伐採せずに済む設計をお願いします

周辺環境を良くするためには?

- 隣接住宅の防犯上、倉庫などの場所にご配慮いただきたい(侵入の足がかりになるようなことがないように)
- 防犯灯の設置、掲示板の設置
- 足掛かりにならない塀を
- 部活と地域の活動を一緒に

どんな施設に、なったら良い!?

- 学生が先生になる 教室→地域の人や子供が学ぶ
- ある程度テーマ、一貫性をもたせる
- 文学 アート 音楽
- このような施設の存在自体を知らない人も多い → 部活の作品や発表、地域の人の交流などを行うことで、知るきっかけになる
- 学生さんと公民館サークルで共通の趣味を持つ方が一緒に活動できれば(良い)。学ぶ。
- 小さな子供たちと大人の交流/文化祭
- 交流(地域、世代、市民、市に人) 学ぶ
- 公共サービスを入れる(住民票、図書返却等、無人で良い)
- 季節のディスプレイ(花/イルミネーションも含む)
- 地元/学生(中学生)とのふれあいの場に
- 部活と地域の活動を一緒に、学ぶ
- 定期的な茶道・華道・書道教室などの開催(体験会) → 文化祭で体験ができたりすると入ってみたい
- 書道は年配の方から子どもにも人気 世代を超えて交流



Dgroup

今回初参加の高校生たちから成るDグループ。どんな施設なら行ってみたいと思うかや、利用できる時間帯の希望についてなど、率直な意見を出し合いました。

- 8:00~でもok 日曜もやってほしい
- 幼児と学生が関われる場
- つどいの広場に 関わりたい高校生はいる
- 勉強スペース
- 家のエアコン代を節約したい 仮眠が安心してできるスペース

つどいの広場エリア どう使いたい?

- 変な人が入ってきたら嫌だ → スタッフが見守る
- 勉強で疲れたとき、赤ちゃんで癒されたいとは思いますが、関わりたいとは思わない
- 仮眠スペース
- 友達と勉強できる場所。長居がしたい。食中心のフードコートに長居すると悪い気がする
- 趣味ができるスペース
- 館内 SNS
- 将棋とか マンガ
- 会話できるスペース
- 年齢関係なく交流できる
- 涼しめて、落ち着く場所
- 勉強で疲れた人が休める 仮眠スペース

利用時間の希望は?

- 10:00 からって遅い? 8:00とか 幼稚園帰り/会社帰りの親子連れも使えると良い
- 塾がない日に行くので、せめて22:00(まで) ガヤガヤしている方が集中できる
- 働く人のための利用を考えると? フリースペースの時間 = コミュニティ(ルームの時間) 分りにくいから合わせた方がよい
- 学生にとって 20:00 は短い(部活 18:00、19:00 まで)
- 夜もやると、働いている親も来れる。
- 8:00~でもいい
- 時間 22 時までには 学校後に来れるように
- 教室× カフェ〇 机、イス 色々ある方がよい
- 本、まんが
- なぜ公民館にいったか? → ハロウィン、お手洗い、自習(自習スペース静かすぎる、フリーなところ) 友達と(クーラー/暖房) スライム、ジェンガ(月1)

どんな施設に、なったら良い!?

- フリースペースと つどいの広場 全部時間合わせても良い
- 館内 SNS を設立して、誰が何をしたいか分かりやすくする
- ボランティアができる スタッフなど、ルールを守るため 循環させる
- 幅広い年代、子供と高校生/学生が関われる場
- 教え合いはどうしたら? 知恵とか教えて欲しい → (おじいちゃんおばあちゃん) 丸い机? 習いに行く感じ(何となく持っている共通認識) トラップコーナー、将棋コーナーを 通路に出す
- ワークショップ内で「ボランティアスタッフ」のような人たちが館内を見張る
- 学校と連携を取ってほしい、学校に情報がほしい
- ご老人たちとふれあえる場。「趣味」ができる場(マンガ、将棋、トランプなど)。学ぶ→やり方 お互いに料理を学べる。 → おばあちゃんから
- 学校と連携とる、部活だけじゃなくて学校全体に発信
- 学校全体にもボランティア情報を発信



Egroup

Eグループもメンバーは今回初参加の高校生たち。高校生ならではの視点で、どんなことができる場所が欲しいのか等、率直な意見が多数飛び交いました。



田中 甲市長

八幡様を中心とし、市役所も立地する八幡地区は市川市の中心です。ここから発信するコミュニティが市川市を変えていく、その拠点になるのが複合施設だと思っています。人生のスタートを切る成長の場所、経験を次の世代に伝えていく場所、また帰って来たいと思える場所、そんな世代を越えて様々な交流が図られる場所になってもらいたいと思っています。今回ワークショップに参加させていただき、大変喜びを感じました。参加者の皆さんが、色々な意見を言うてくださったことにとっても意味があることだと受け止めております。日本で古くから言霊と言われるように、前向きな皆さんが発してくれた言葉には力があります。市川市をさらにすばらしい市にするために、これからもご協力いただければありがたいです。

ファシリテーター(設計事務所)より

市川市八幡地区にできる全く新しい複合施設を目指して

3ヶ月の間、ご参加頂きありがとうございました。回を重ねる度に参加者が増え、意見も議論も益々、熱く多様なものとなるのを感じ、大変勉強になりました。新しい参加者へのご配慮も頂き、「みんなで作る」ことを共有した会話ができたとします。他人の意見を尊重しつつ思いを伝えるという単純な事が、未知の人々の前ではそう簡単ではありません。公共施設の、しかも目的が多数あり、その境界を超えてさらに楽しく、充実した市川八幡ライフを過ごせる新しい場所は、そんな「他人の意見を尊重しつつ大切なことは述べ合う」ことから、どんな活動をどんな場所で行えば良いのか、設計者にも具体的な姿が見えた気がしています。皆様との対話を心して、今後の設計に邁進します。また、お会いして話せる機会を楽しみにしております。

事務局より

多様なニーズに対応する多世代交流施設の実現に向けて

(仮)八幡市民複合施設をより良いものにするため、テーマをもとに様々な立場の参加者が意見や知恵を出し合うワークショップを3カ月にわたり実施しました。ご協力いただきました参加者の皆様、ありがとうございました。当初は、14名の参加者で始まりましたが、新しい施設をより良いものにしようという思いに呼応した方が回を追うごとに増え、最終回の参加者は40名を超え、盛況のうちに終了することができました。施設周辺の見学会では、神社や参道、隣家等の周辺環境を知ろうと多数の方に参加いただきました。また、ワークショップでは、高校や大学の学生を含めた多世代の方がテーマをもとに活発に意見交換し、立場の違う人の意見を把握した結果としたうえで、グループごとに発表を行いました。世代にとらわれず多様な人が利用し、交流できる場所、落ち着いてくつろげる安心安全な場所等、これまでにない公共施設を望む声が多数あることを把握することができた貴重な機会となりました。皆様の期待に応えるためにどのような施設であるべきか、施設の運営についても更に検討し、建設後の施設がたくさんの方々に喜んでいただける施設となるよう取り組んでまいります。